

表彰プレゼンター ガイドライン

1. 推奨事項

- ・ メダルセレモニーは、観客の関心を維持するため、競技終了次第、レース会場で速やかに始めることが基本となります。
- ・ 競技・種目及びメダリストとより親密になるために、プレゼンターとして割り当てられた競技・種目を観戦することを推奨します。
- ・ 観戦することが難しい場合でも、遅くともメダルセレモニー開始時間の 1 時間前までにはレース会場に到着してください。
- ・ レース会場に到着した際には、大会運営スタッフに表彰プレゼンターであることを伝えてください。メダルセレモニーの流れやメダリストの紹介等、セレモニー前に事前説明いたします。必要に応じて、メダリストとのコミュニケーションを促します。
- ・ パラトライアスロン PTVI(視覚障がい)クラスにおいては、ガイド(競技パートナー)にもメダルやフラワーブーケ等が授与されます。その場合、選手が先にメダル授与され、次にガイド(競技パートナー)の順となります。フラワーブーケ等も同様です。
- ・ 大会側から事前にメダルセレモニー参加意向を確認させていただきますが、プレゼンター対応が難しい場合には、早々にお知らせください。

2. ドレスコード

- ・ プレゼンターの服装は、ビジネスウエアを推奨します。大会側から指定がある場合には事前にご案内します。
- ・ ブランディング観点から、目立つブランドマーク・ロゴがないものを着用することを推奨します。
- ・ 普段身に着けているアクセサリ(時計や宝飾品等)は着用可能ですが、広告宣伝のために着用することはできません。
- ・ 視力に障がいのあるプレゼンターは、メダルセレモニー中にガイドを同伴することができます。その際、ガイドもビジネスウエアを着用してください。
- ・ メダルセレモニー中は、アテンド(メダル・フラワーブーケ等の贈呈サポート者)がエスコートします。
- ・ セレモニー中は、旗、携帯電話・スマートフォン、ヘッドフォン、カメラ、電子機器、ボトル、おもちゃの持ち込みは禁止です。
- ・ サングラスは表彰ステージ上での着用は禁止です。例外として、視覚障がいのあるプレゼンターはその限りではありません。
- ・ セレモニー中は、ア krediteーション(ADカード)は外してください。
- ・ 特定の宗教的又は政治的色彩の強い物、式典進行の妨げになる物を身に着けることは

禁止です。

- ・ いかなる種類のデモ、抗議、政治的発言は、ステージ上及びメダルセレモニー会場では禁止です。
- ・ 所属機関・所属企業を示すために、特定のピンバッジまたは組織ロゴを掲出したい場合は次に限り可能です。
 - ▶ 当該大会エンブレム。
 - ▶ 国際競技連盟（IF）、大陸別競技連盟（AF）、中央競技団体（NF）、加盟団体のピンバッジまたは組織ロゴ。
 - ▶ 当該大会の公式パートナー企業（主催・共催・後援・協力・協賛企業）のピンバッジまたは組織ロゴ。
 - ▶ ロゴは最大 30 cm²とする。
- ・ 当該大会の公式パートナー以外の企業ロゴを掲出することは認められていません。
- ・ 大会運営スタッフは、プレゼンターに対して上記ルールに反するものについては撤去をお願いすることがありますのでご承知おきください。

3. 祝辞

- ・ メダルセレモニーではメダリストに対して、事前説明時に合意された方法で敬意を表してください。（例、握手、ご自身の右手を心臓に当てて少し立ち止まる、頷く、小さくお辞儀をする）
- ・ 贈呈時には、国籍や宗教に関係なく平等に扱われるべきという観点から、キスのような物理的に近いお祝いのジェスチャーをしないことを推奨します。
- ・ メダリストとのコミュニケーションは、常に敬意と威厳を示しながら、正式かつ礼儀正しいスタイルで行ってください。
- ・ メダリストと面識がある場合でも、メダルセレモニー中の私的な会話は控えてください。
- ・ 祝辞はあまり長くならないように注意してください。

4. パラアスリートに対する推奨事項

4-1. 車椅子やその他補助器具を使用するメダリスト

- ・ 車椅子、松葉杖、歩行器等の補助器具は、身体の延長と見なされるため、アスリートの許可なく触れてはいけません。
- ・ 車椅子使用者と接する際には、相手の快適さを考慮し、長めの会話では目線の高さに考慮してください。立っている際には、座っている相手が頭を後ろに曲げる必要がないように十分な距離を取ることを推奨します。

4-2. 視覚障がいのあるメダリスト

- ・ 視覚障がいのあるアスリートに声をかける場合には、まず自分の名前を伝えてから、次に祝辞を述べてください。この手順により、アスリートは明確に理解することができます。
- ・ メダルセレモニーでは、表彰台に上がったメダリストに近づく際には、"I am now presenting you with the Gold medal." / 「これから金メダルを授与します。」等と口頭でも合図をしてください。握手を求める際にも、"Now we shall shake hands". / 「握手しましょう。」等と、同様に口頭での合図をお願いします。

4-3. 上半身に障がいのあるメダリスト

- ・ 上半身に障がいのあるアスリート（例、上肢を切断している、麻痺がある、手が不自由で器用でない）は、メダル等を受け取る際に、特別な時間や介助を必要とする場合がある。メダルセレモニー前の事前説明時にご相談いたします。
- ・ 忍耐強く、アスリートが上肢と身体の間でメダル等を受け取ることができるように、メダル等を近くに寄せてください。腕のないアスリートや機能的に制限のあるアスリートへのメダル等贈呈には、あごや首の下で受け取る、つま先で挟む、アスリートの膝の上に置く、等の代替手段があります。このプロセスにおいて、ガイドやチーム役員のサポートを求めるかはメダリストの選択によります。
- ・ メダリストと握手したい場合には、上半身に障がいのある人は常に、握手するのに一番心地良いと感じる身体の部位を差し出すことに考慮してください。例えば、上肢を切断しているアスリートは、プレゼンターが残りの手足や義肢に握手することを望むかもしれません。手足がない選手の場合は別の方法として、頭をなでたり、腕を組んだり、小さくお辞儀をしたり等、軽いジェスチャーがあります。

5. メダルセレモニーの進行手順

- ・ 基本は次の順序で進行します。
 - ▶ 選手/プレゼンター入場
 - ▶ メダル/フラワーブーケ贈呈
 - ▶ 国旗掲揚/国歌斉唱 ※ 国際大会のみ
 - ▶ 優勝選手コメント ※ 大会による（国際大会は省略）
 - ▶ フォトセッション/写真撮影
 - ▶ シャンパンセレモニー ※ シャンパン贈呈後、プレゼンター退避
 - ▶ 選手退場

参考事例1 日本トライアスロン選手権（選手権表彰+年間ランキング表彰）

TIME	LAP	Program	Action	Note
日本選手権 男女				
13:30	0' 30"	オープニング	大会MCによるオープニングコメント	
	0' 30"	女子選手/プレゼンター 入場		
13:31	5' 00"	日本選手権 女子 表彰	プレゼンター紹介 3位→2位→1位 の順に贈呈 ※ 選手は名前がコールされた時に登壇する	メダル プレゼンター:*** フラワー プレゼンター:*** ※ 副賞有無、渡すタイミングを要確認
13:36	1' 00"	優勝選手コメント		
13:37	1' 00"	フォトセッション	全員が表彰台センターへ	
13:38	0' 30"	女子選手 退場	降壇し、袖にて待機	
	0' 30"	男子選手 入場		
13:39	5' 00"	日本選手権 男子 表彰	プレゼンター紹介 3位→2位→1位 の順に贈呈 ※ 選手は名前がコールされた時に登壇する	メダル プレゼンター:*** フラワー プレゼンター:*** ※ 副賞有無、渡すタイミングを要確認
13:44	1' 00"	優勝選手コメント		
13:45	1' 00"	フォトセッション	全員が表彰台センターへ	
13:46	2' 00"	男女合同フォトセッション	女子選手、再登壇 全選手+プレゼンター / 全選手 / 男女1位 撮影	
13:48	1' 00"	選手 退場	降壇し、袖にて待機	

TIME	LAP	Program	Action	Note
NTTランキング 年間表彰 男女				
13:49	0' 30"	オープニング	NTTランキング 年間表彰 オープニングコメント	
	0' 30"	男女選手/プレゼンター 入場	男女1列に並んで入場	
13:50	6' 00"	年間表彰 男女合同 表彰	プレゼンター紹介 3位女子男子→2位女子男子→1位女子男子の順に ※ 選手は名前がコールされた時に登壇する	
13:56	2' 00"	年間チャンピオンコメント	女子選手→男子選手の順に	
13:58	1' 00"	フォトセッション	全選手+プレゼンター / 全選手 撮影	
13:59	2' 00"	選手権&年間 男女合同フォトセッション	選手権表彰者、再登壇	年間表彰選手はそのままの位置で待機 選手権の未表彰者は自身の順位台へ 両方受賞者は年間表彰を優先
14:01	3' 00"	シャンパンセレモニー	プレゼンター紹介 各プレゼンターがシャンパンを1本ずつ持って登壇 選手+プレゼンター でフォトセッション 選手にシャンパン贈呈、プレゼンター退壇 シャンパンオープン	選手権・年間表彰選手全員 ※ ジュニア選手に考慮すること
14:04	1' 00"	選手退場		

参考事例2 WTCS 横浜（Elite Women 表彰+WTCS シリーズリーダー表彰）

TIME	LAP	Program	Action	Note
12:05		女子 トップ選手フィニッシュ		
12:15		女子 全選手フィニッシュ		
12:23	2' 00"	「まもなくコメント」	大会MCによる2分前コメント	選手/プレゼンター スタンバイ
Elite Women 表彰				
13:25	0' 30"	オープニング	大会MCによるオープニングコメント	
	0' 30"	女子選手/プレゼンター 入場		
12:26	4' 00"	エリート女子 表彰	プレゼンター紹介 3位→2位→1位 の順に贈呈 ※ 選手は名前がコールされた時に登壇する	メダル プレゼンター:*** フラワー プレゼンター:***
12:30	2' 00"	国旗掲揚・国歌斉唱	大会MCよりアナウンス 起立、脱帽、掲揚ポールへ向くこと	
12:32	1' 00"	フォトセッション	全員が表彰台センターへ	
WTCSシリーズリーダー 表彰				
12:33	1' 00"	女子シリーズリーダー 入場	大会MCより、シリーズリーダー説明	
12:34	1' 00"	女子シリーズリーダー 表彰	プレゼンター紹介 トロフィー贈呈 ※ 選手は名前がコールされた時に登壇する	トロフィー プレゼンター:***
12:35	1' 00"	フォトセッション		
12:36	4' 00"	シャンパンセレモニー	エリート女子表彰選手、再登壇 プレゼンター紹介 選手にシャンパン贈呈、プレゼンター退壇 シャンパンオープン	
12:40	1' 00"	選手 退場		

6. 入場順序

- 基本は次の順序で入場します。ただし、ステージへの導線によって調整されます。
 - ▶ メダル アテンド（贈呈サポート者）
 - ▶ フラワーブーケ アテンド（贈呈サポート者）
 - ▶ 2位 選手
 - ▶ 1位 選手
 - ▶ 3位 選手
 - ▶ フラワーブーケ プレゼンター
 - ▶ メダル プレゼンター
- その他副賞の有無によって、プレゼンター、アテンドの人数は調整されます。
- 登壇者はステージに向かって進み、表彰台の後ろを通り、ステージ上でU字型に並びます。
- その際、メダル/フラワーブーケ アテンドは、それぞれのプレゼンターと向かい合います。
- 選手は、それぞれの順位の表彰台後ろに立ちます。



※ 左から、

メダル/フラワーブーケ アテンド（贈呈サポート者）

選手（2位、1位、3位）

メダル/フラワーブーケ プレゼンター

参考) JTU スポーツプレゼンテーション ガイドライン

https://www.jtu.or.jp/sport_presentation_guideline/